

(別紙4(2))

事業所名 認知症対応型共同生活介護 ひょうたん山そよ風

## 目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	面会やケアプランの説明時(3ヶ月に1度)に家族とコミュニケーションをとる機会はあるが、運営推進会議において家族の参加がほとんど得られていない。	地域の方々や家族に向けたそよ風カフェを定期開催し、会議にしやすい環境や関係性を作っていく。	①月1回発行しているそよ風だよりを利用した会議、カフェ参加への呼び掛けを行う。(カフェメニューの写真は毎月掲載している為、継続していく) ②民生委員や自治会長と連携し、回覧板等を利用した地域への周知をする。	6ヶ月
2	33	重度化、終末期に向けた勉強会は行っており看取り経験のある職員もいるが、本人や家族の意向の共有、新人を含めたチームでのケア統一面では不安な点が多い。	入居者の重度化に伴い、チームでの統一したケアを実施していく。	①管理者・ケアマネージャーを中心とした家族・医療機関との情報共有、終末期に向けた意向の確認は随時行っていく。 ②本人・家族の意向は現場へ確実に落とし込み、統一したケアに繋げていく。	12ヶ月
3	49	外出支援は積極的に行えているが、フロアによってばらつきがあり、利用者の重度化に伴い外出機会や行ける場所が限られている。	利用者の状態に応じた個別の外出支援をしていく。短時間でも散歩や花の水やり等、継続的な外出支援をしていく。	①出来るだけ利用者の行きたい場所や食べたい物の要望に沿った外出支援ができるようにしていく。 ②閉鎖的な環境にならないよう、気分転換や地域との交流も兼ねて日常的な散歩等を継続していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。